

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表 令和7年3月

事業所名 八百津町親子教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	38	37	25	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によっては利用者が多く感じることがある。 ・曜日によっては、椅子や机のスペースが不足、段ポールを机代わりにしている子もいる。 ・もっと個室があるといい。広いスペースもあるといい。 ・サッカーやバレーボールをする子もいて、その周りを幼児車で走ったりする子もいるためやや狭い。球技をする場所を確保できるといい。 ・指導で個室など静かな場所を使いたい時に、十分使用できない。 ・活動に応じて、広々と活動のできる場所を利用することもある。
	2	職員の配置数は適切であるか	82	12	6	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1の対応ができるようにしてほしい。 ・事業所運営規定による職員の配置は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	88	12	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	81	19	0	・6か月に1度、モニタリングを行い、目標設定と振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	94	6	0	保護者からの評価をもとに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88	12	0	八百津町のホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	81	19	0	主任児童委員に来所していただき外部評価を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	94	6	0	研修の機会は、少なくとも年3回は実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	56	31	13	<ul style="list-style-type: none"> ・不明、分からない。 ・すべての子に使用しているわけではない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	81	19	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88	12	0	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	56	25	19	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇ごとに応じては行っていない。 ・休みの日に課題を出すことはない。 ・平日、休日、長期休暇の支援体制(サービス利用時間)は同じであるため、決められた時間の中で個々に合わせた内容で支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	44	31	25	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず行っているわけではない。 ・やっているところとやっていないところがある。 ・ほとんどが1対1の個別対応であるため、必要に応じてグループ活動等の打合せを行っている。中高生に関しては、1対2の複数対応もあるので、必ずその日の打合せを行っている。

16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	44	19	37	・時間の都合で毎回できるとは限らない。 ・振り返りを行う時間がそもそもない。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	94	6	0	・時間の都合で毎回できるとは限らない。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	94	6	0	・6ヶ月に1度、モニタリングを実施し、児童発達支援管理責任者がサービス計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	81	19	0	・分からない。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75	19	6	・児童発達支援管理が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	94	0	6	・情報が来ない時もあるので、こちらから聞くなどできる限り把握するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	50	37	13	・療育児と保護者の連絡、見守り。 ・保護者を通じて間接的な連携になっている。直接的な連携体制を整えていく必要がある。 ・お母さんを通じて連絡をする(情報共有)ことはあるが、直接連絡することはない。 ・主治医との連絡体制は整っていない。 ・市内の医療機関と連絡できる体制を少しずつ整えている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75	25	0	・児童発達支援からの継続児が多い。転入等は他市町村から情報を共有し継続的な支援につなげている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	57	43	0	・やっているか分からない。 ・相談支援専門員、役場福祉係と連携し、ケース会議や担当者会議を行って、必要に応じて連携を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	81	19	0	・美濃加茂市カナリヤの家(児童発達支援センター)の職員を講師として招き、助言や研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25	25	50	・利用している子どもは、そういう機会がある。 ・今のところ交流する機会がない。 ・福祉センター全体の避難訓練に児童クラブの子どもと一緒に避難訓練をする機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	63	39	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	94	6	0	・送迎方法が変わったため、保護者の方にフィードバックすることが減った。 ・送迎時は時間が限られているため、個別のノートや活動写真で様子をお伝えし、共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	32	37	31	・ペアトレは行っていないが、同じ障がいのお子さんを持つ保護者同士の座談会を行っている。 ・専門的知識がなく行っていない。 ・指導者の資格保持者はいるが保護者のニーズが少ない
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	88	12	0	・児童発達支援管理責任者が行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	94	6	0	・各担当職員、児童発達支援管理責任者が行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	81	19	0	・座談会の開催。 ・親の会行事を年3回行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	94	6	0	・苦情窓口として、児童発達支援管理責任者が対応している。

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	94	6	0	・毎月通信を出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	94	6	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	56	25	19	・くたみんカフェで職業体験を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	94	6	0	・避難訓練の様子等を通信で周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	88	12	0	・急な走り出しや誤飲の可能性等がある場合、安全確保のために体の動きを止めることはあり、保護者の同意を得ているが、個別支援計画に明記している場合とそうでない場合がある為、徹底する必要がある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	88	12	0	・保護者に確認をとっている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	0		